

平成30年5月23日

No. 117

日立理科クラブ通信

日立理科クラブ

理数アカデミー 合同入校式

5月20日(日)、平成30年度理数アカデミー合同入校式が教育プラザで行われました。6年生の理科・算数コースが2年目になり、多くの受講生が集まりました。日立理科クラブの瀧澤代表から、「日立市は科学技術を引っ張ってきた街です。受講生の皆さんのこんなことをやってみたいということ、全面的にバックアップします。知識や技能を身に付け未来に向けて切り開いて欲しい。」というエールが送られました。また、来賓の市教育委員会・中山教育長から、「6年生の受講生の多さにワクワクしています。大切な3つの力、**育つ力・繋ぐ力・拓く力**を育み、理数アカデミーへ参加する心構えや主体性を持って取り組むことの大切さを忘れないように。」というメッセージが送られました。

受講生を代表して、坂本中2年・鈴木誠梧君から、「昨年の理数アカデミーでの活動では、自由研究コースで取り組んだ実験に失敗し、壁にぶつかってしまいました。昨年の経験を生かして継続して取り組み、頑張りたいです。」と、力強い意気込みが述べられていました。

その後、合同入校式を記念して、理学博士・小泉英明先生の「**科学する心**」という演題の講演がありました。先生は、日立製作所名誉フェローで日本工学アカデミー上級副会長などとして活躍しています。計測器機や医療機器の分野で輝かしい実績をあげ、世界にその名を知られている科学者です。中でも、人間の脳の内部の活動を計測できる「光トポグラフィー」の開発は、米国のMITテクノロジーレビュー誌が、「社会を変える世界の4つの新技術」として紹介するなど、高い評価を受けています。講演の内容は、以前に好奇心旺盛な3人の中学生から、思いのままに質問を受けたときのインタビュー形式の資料をもとに行いました。「**好奇心をもつという事は、どうして大切なんですか?**」という質問には、「好奇心というのは人間が生きていくうえで、最初の段階から備わっているもの。好奇心は人間の根源的な思いであり、とても大切な働きです。」そして、「科学する心」として、5つの心を示しました。

- ・自然のすばらしさを深く感動する心、そして好奇心
- ・真実を素直に認め、事実を決してごまかさない心
- ・偏りや思い込みなしに、素直に判断し行動する心
- ・自然の中に生かされる、命を大切にすること
- ・多様性を尊び、相手を思いやる心

淡々としたやわらかい語り口で、先生の幼少期のエピソードやカリフォルニア大学ローレンス研究所でのお話など、幅広い内容の中に科学者・研究者としての思いや使命感があふれていました。

実人数64名の受講生たちの理数アカデミーでの活動が始まりました。東京大学「ジュニア・ドクター育成塾」の活動も2年目になり、目を輝かせている6年生をはじめ、一人一人の実りある成果が出ることを期待しています。**がんばれ!科学者の卵!!**

理科コース34名



算数・数学コース30名



自由研究コース22名



理学博士・小泉英明先生

文責 日立理科クラブ 特別会員 岩波 英一
日立理科クラブ事務所 Tel/FAX 0294-24-3104